

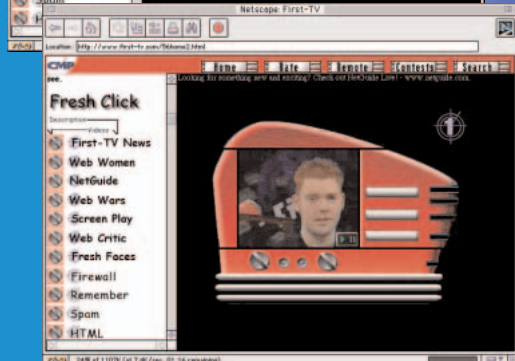
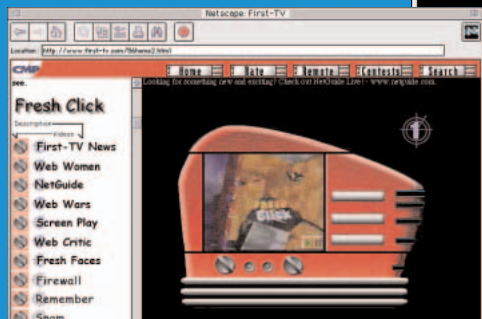
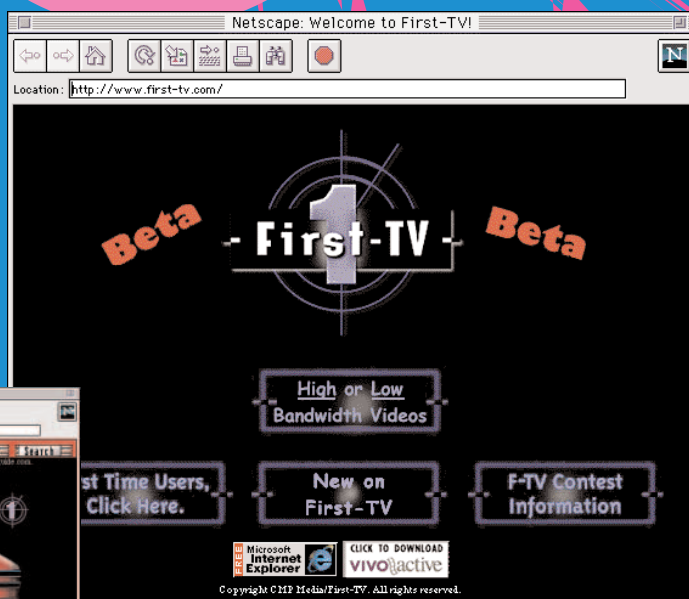
今泉 洋の



# What's Cool

What's Coolが  
リアルオーディオで聞ける？

今泉洋氏のトークをリアルオーディオで聞きながら、このコーナーで紹介しているクールサイトをオートサーフィンできる新番組「What's Coolラジオ」(<http://home.impress.co.jp/magazine/inetmag/radio/>)が11月5日からスタート。まずはインターネットマガジンのホームページにアクセス！



ついに登場 インターネットオリジナルの24時間ビデオ放送局

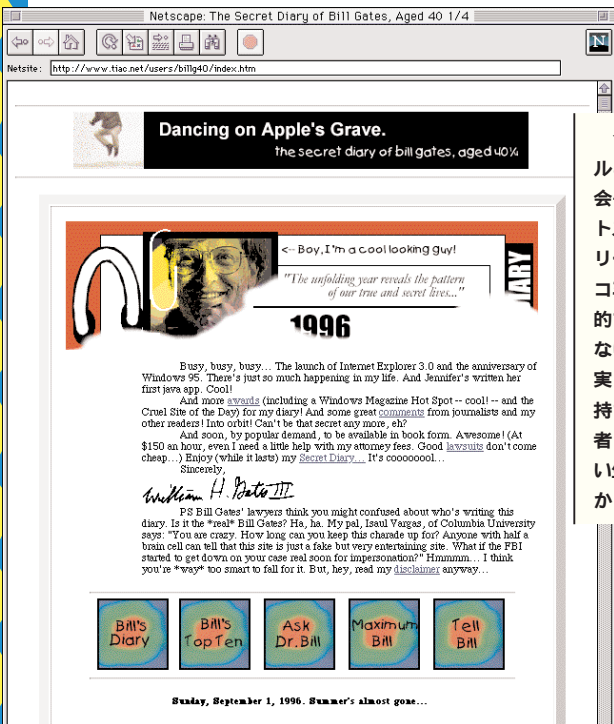
Welcome to First-TV!

URL <http://www.first-tv.com/>

最近話題のビデオ通信ソフト「VivoActive」。ついにこれを使った世界初(?)の24時間インターネット専用ビデオ放送局が登場した。AVIやQuickTimeに比べると200分の1という圧縮比だから、クオリティや画面サイズを期待するわけにはいかないが、28.8Kbpsのモデムでもそれなりの画像と音声を楽しむことができるのがウリ。なんだか1年ほど前に初めてリアルオーディオを聞いた時を思い出させる光景だ。

放送は従来のシーケンシャルなテレビ放送の形ではなく、ビデオオンデマンド方式。執筆時点で放送されているのは版のプログラムで、雑誌「NetGuide」で知られる米国の出版社CMP Mediaとのタイアップで制作された「Fresh Click: Life Online」。インターネット関連のニュース、オンラインゲームやウェブの制作者紹介、ガジェットやハード、ソフト、ウェブの批評など、すべてインターネット用のオリジナル

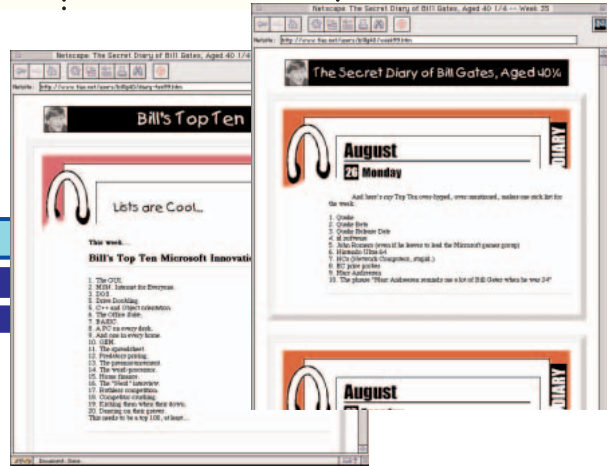
コンテンツだ。内容はまだアマチュアビデオに毛が生えた程度で、とてもテレビ並みに洗練されているとは言い難いが、今後、CNNやABCなどもこの方式を採用する予定というから楽しみだ。なお、VivoActiveのInternetPlayerはVivoSoftwareのホームページ(<http://www.vivo.com>)からダウンロードできる。



今やドル札よりも有名なビルと言われるマイクロソフト会長のゲイツ氏。最近もネットスクープ社との確執やサラリーアップなどの話題がマスコミで取り上げられ、注目的ではあるのだが、彼の人となりはなかなか見えてこない。実はとんでもないカンシャク持ちらしい。若くして億万長者ともなると、さぞかしすごい生活をしているのではないかと、いや、意外に質素とい

う話も聞くし……という具合に、世間のうわさの格好のネタであることだけは確か。そんな雲上人となった彼に、パロディーという形で人間らしさ(?)を与えるのがこのウェブページ。彼の選んだマイクロソフトのイノベーションベスト10(!)や読者へのお返事(日本でも某経済紙が連載中)、自己分析などのテキストの中に本物のマイクロソフト社のウェブページへのリ

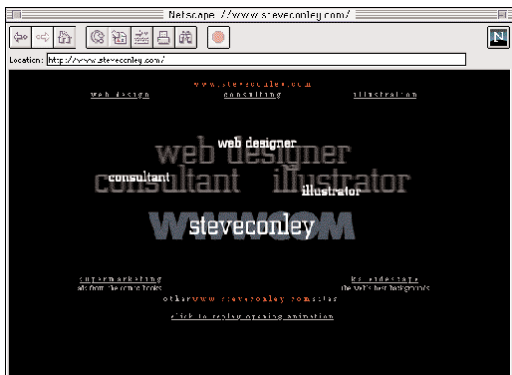
ンクもあって、なかなか手のこんだパロディーになっている。一番面白いのは彼の「秘密の日記」。もちろんパロディーだが、その時々イベントを思い返しながら読むと、味わい深いものがある。残念ながら、どうやらシャレの通じない弁護士のおかげで現在のところ日記の連載は中断されているが、偽物と分かっていてもなかなか興味深い内容だ。



さすがビル・ゲイツ 秘密の日記をウェブで公開?

The Secret Diary of Bill Gates, Aged 40 1/4

URL <http://www.tiac.net/users/billg40/index.htm>



チープで怪しい広告とクールなテクスチャーの不可解なミックス

[www.steveconley.com/](http://www.steveconley.com/)

URL <http://www.steveconley.com/>

コミック作家兼イラストレーターにしてウェブデザイナー&コンサルタントのスティーブ・コンレイ氏のサイト。イントロのアニメーションもクールだが、本編のウェブページがなかなか強力だ。

1つはコンレイ氏が主にオンライン上で収集した、作者不明のチープなコミック風広告のクリップの数々。最近あまり見かけなくなったが、日本の少年マンガ誌や青年誌のうしろのほうのページに掲載されていたようなプラモや怪しげな商品の広告が収録されており、ほとんどの画像にシャレの効いたリンクが付いているのも楽しい。クラシッ

クアイテムとしては「シーモンキー」や「GIジョーセット」、暗闇で抜群の効果を発揮する「Kiss Me Necktie」といったおバかな品々が紹介されているなど、「ホントかよ?」的商品のオンパレードだ。

もう1つはまじめというか彼の本業とも言える実用的なサービスページで、なかなかお洒落なバックグラウンド用テクスチャー数十種類を、実際に表示して試しながら、ダウンロードすることができる。

しかしこの2つの側面、分かるといえば分かる気もするが、どう理解すればよいものか? とまかくユーザーは一石二鳥だからいいことにしよう。





## 人生ほのぼのしたい人に テディベアのホームページ

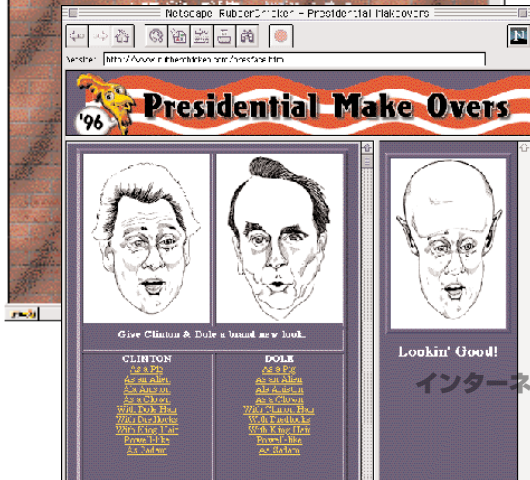
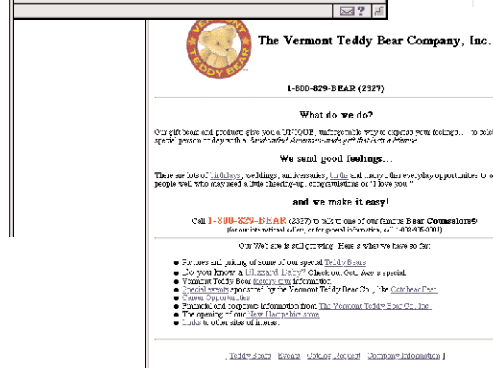
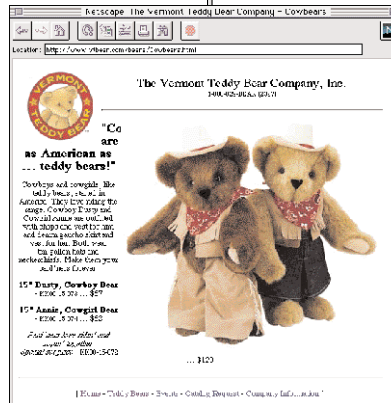
The Vermont Teddy Bear Co.

URL <http://www.vtbear.com/>

時には「人生最長の友人」と呼ばれることもあるほど、もっともクラシックな縫いぐるみとして子どもから老人まで、根強い人気のあるテディベア。このページはその名のとおりに、アメリカ東海岸北端にあるバーモント州の手作りテディベアショップが作ったホームページ。もちろん取り上げられているのは例のクマの縫いぐるみみだけだが、そのパリエーションの多さがうれしい。

赤ちゃんクマ、バレリーナ、お医者さん、看護婦さん、赤ずきんちゃん風、絵本付きと

いろいろだが、Politically-Correctにビジネスマン(ウーマン) カウボーイ(ガール)と男の子と女の子用があったり、さらに妊婦のテディベアまで用意されているのが今っぽい。また月替わりのスペシャルにも季節感があって、とてもしゃれてる。面倒なことが多くてうんざりした時に訪ねてみると、ホッとすること間違いなし。また、もしプレゼントを考えているなら、カタログのリクエストも受け付けているので問い合わせてみるといいだろう。



パッドテイスティングパーティーを盛り上げる小道具として欠かせないのがゴムで作った裸のニワトリの「ラバーチキン」。このドメインネームからも分かるように「おふざけギャグ」の集大成を目指して作られた(?)のがこのサイトだ。大統領候補をモチーフにし

た「オンライン福笑い」や「ブーブクッション」のサウンドファイルなど、笑えるウェブページがいっぱいできながら楽しめる。また実際に、どぎつい「臓器提供のお願い」や「学位取消通知」から「優秀社員表彰」といった偽の手紙を送る「フェイクメール」、気の利い

たグリーティングカード、「あなたベスト××」という感謝状、好きな場所の観光ポストカードを投函してくれる「バーチャルパッケージ」などのオンラインサービスもある。残念ながらすべて英語のサービスだが、もし欧米に人がいたら一度は試してみたいサービスだ。

## オマイガーなジョークがいっぱい Out Postの新サービス

FakeMail, pranks & gags: RubberChicken.com

URL <http://www.rubberchicken.com/>

## これでスッキリ ネット文化人の8類型、ついに発表

### 8 Types of Net-Head

URL <http://www.net-head.com/8types.htm>

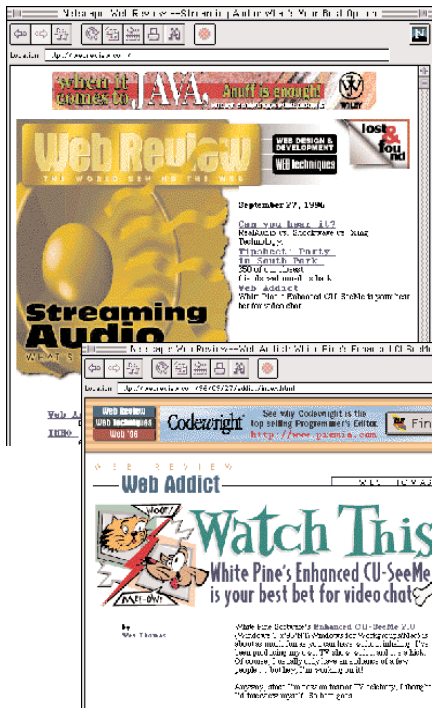
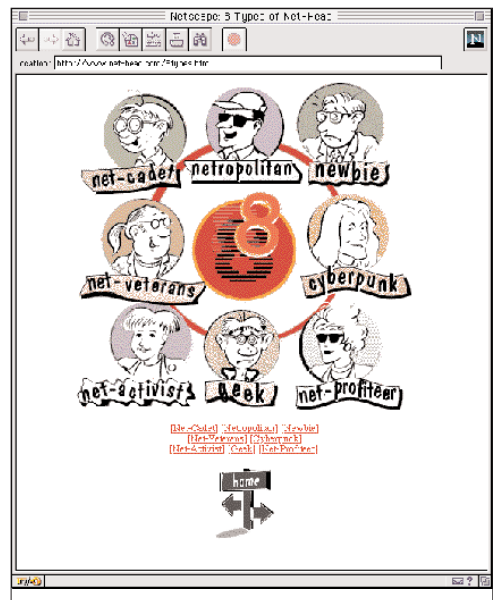
考えてみればこれまで、ヤッピーだのテッキーだの、いろんな「族」が登場し、その度に「オフィシャルガイドブック」と称するパロディー本が出版されたものである。どうやら新しい現象を文化として受け入れるためには自嘲的な類型化という通過儀礼が必要らしい。

というわけで、インターネットにハマっている最新のカ

ルチャグループの「族性」をまとめたのが「ネットヘッド・ハンドブック」という本。このウェブページはそのキャンペーン用らしく、書籍やTシャツのオンラインショッピングのほか、本文で取り上げられているネットヘッズの8タイプが解説されている。

ネット初心者からサイバーパンク、ネット活動家など、

全体を単一のキャラクターで片付けることができないのがいかにネット的だが、どの解説を読んでも「いるいる、こんなやつ」という具合。洋の東西を問わず、新しいネット人種の性格が共通しているのがいかにワールドワイドなインターネット、と納得してしまおう。さて、あなたの場合はどのネットヘッドだろう。



## ウェブジンの名門、装いも新たに復活だが……

### Web Review

URL <http://webreview.com/>

インターネットの世界を多角的にレビューするウェブジンとして定評のあった「WebReview」が「広告収入だけではもともなウェブジンは運営していけない」という衝撃的なアナウンスを残して休刊したのが今年の5月。休刊発表とともに同誌がユーザーに対して行った「何ドルなら払ってもいいと思うか」

というアンケートがきっかけとなってウェブジンの有料化が進むとの観測が流れた。

それから4か月後の復刊である。ちゃんとしたスポンサーが付く形で以前のように無料で毎週発行されるのはめでたいが、スポンサーとなったミラー・フリーマン社の方針もあって、一般向けからウェブ制作者向けに若干の編集方

針変更が行われ、同社の雑誌媒体やコンベンションなどとのタイアップが行われるという。しかも、当初の広告主は最近特にインターネットに力を入れているマイクロソフト……とくると業界から新しい編集方針に注目が集まること必至だろう。かつてのように鋭い切り口でウェブ文化を語るか、注目されるどころだ。

## ますます拡大するウェブの世界 効率よく検索するならここ

### Search Engines -- Beaucoup! (English)

URL <http://www.beaucoup.com/engines.html>

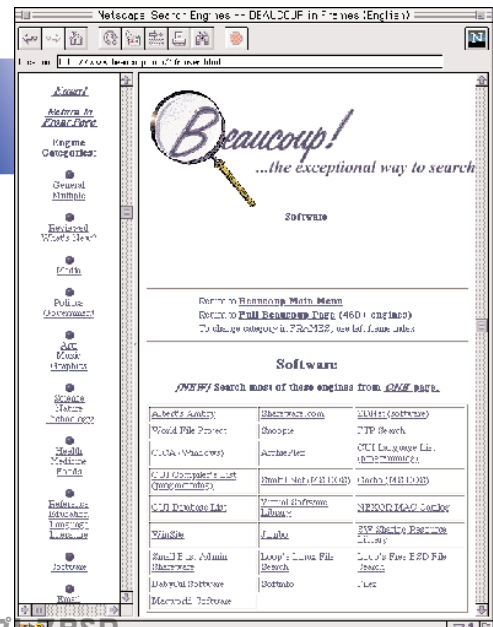
キーワード発で膨大なウェブページの中から求める情報を探り当てるのは大変な作業だ。あらかじめ分野を絞って検索をかけるほうがよい場合もある。そんな時、役に立つのがこのページ。

総合検索サービス(36種)、多機能検索サービス(11種)、評価や最新ページを集めた検索サービス(11種)を始めと

して、メディア関係、地域別、ソフトウェア、参考図書、芸術・音楽・グラフィック、自然科学、電子メールなど、コンピュータ・インターネット、政治・政府、保健・食品関係、就職情報など、全部で400種類を超える検索サービスへのリンクが用意されており、日本語訳のメニューもある。

一方、「DigiSearch」

(<http://www.digiway.com/digisearch/>)では、リストアップされたサーチエンジン(ウェブ用15種、USENET用3種、メールスやビジネスアドレス用3種)のうち、ユーザーが指定したものに対して同時に検索をかけ、その結果を表示してくれる。検索時間の制限を設けることも可能だ。

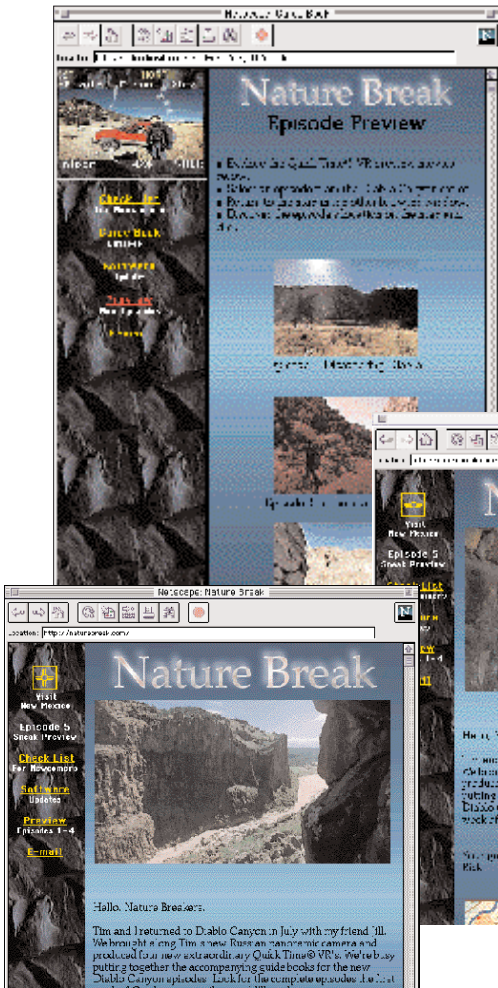




## お仕事人間のあなたに パーチャル・アウトドアアドベンチャー

### Nature Break

URL <http://naturebreak.com/>



毎日コンピュータをのりこめると、ある日突然「もうこんな仕事はやだ、おれは自然に帰りたい!」と思う…… だけなら誰でもできるかもしれないが、本当にそれを実行してしまったコンピュータエンジニアがいる。そんな彼が、かつての自分のようにネット端末の前にいる人に代わって自然を探検しようというのがこのウェブページ。Javaを使ったマップとイン

ラインQTVRを使った360度のパノラマで各地の景色が楽しめる構成。楽しみながら地理の勉強ができてしまうハイパーテキストガイドブックでもある。現在掲載されているエピソードはニューメキシコのコディアロバ渓谷だが、今後、コロラド州の山やアリゾナの砂漠、ユタのキャニオンランドへの探検も計画中。また探検してほしい場所や季節、テーマなどのリクエストも受け付けている。

## いつか見た夢 パーソナル飛行マシン

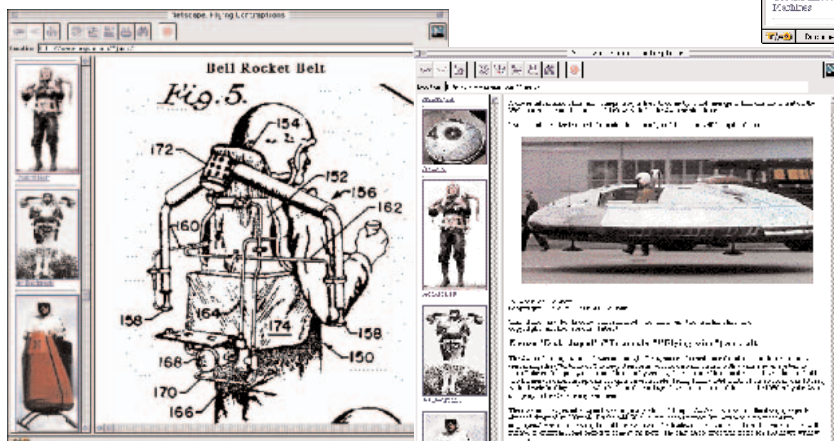
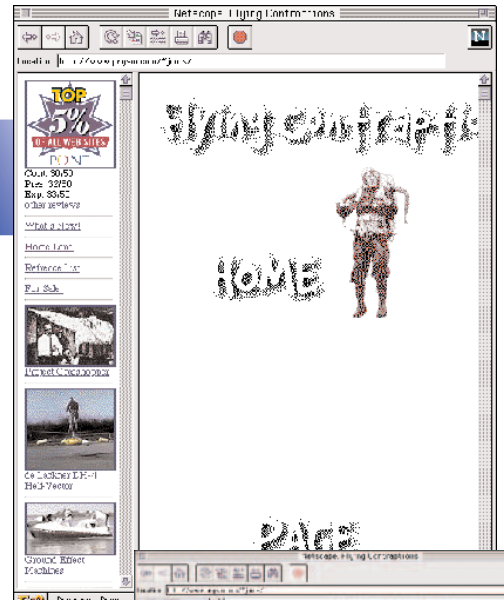
### Flying Contraptions

URL <http://www.prysm.com/~jnuts/>

自由に空を飛び回る……夢の中でそんな体験をする人は多いが、だったらそれを実際にやってみようとする人が多いのは、やっぱりアメリカということになるのだろうか。古くは007の映画、最近(でもないか?)ではロサンゼルスオリンピックにも登場し

た小型の空中浮遊装置。考えてみると、昔の少年雑誌にはこの手のピークルが未来の乗り物になるなんていうノテンキな図解が載っていたものだが、あの未来はどこへ行ったのか……なんてことを思い出させるのがJim Noetzel氏の作ったこのウェブページ。

ホバークラフトから飛行プラットフォーム、ロケットベルト、飛行自動車まで、彼が雑誌やパテント資料、軍関係の公開情報から5年の歳月をかけて収集した“常識的な飛行機以外”のフライングピークルの写真やイラスト、データが収められている。





## [インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

**株式会社インプレスR&D**

All-in-One INTERNET magazine 編集部

[im-info@impress.co.jp](mailto:im-info@impress.co.jp)